

# 鍵盤三景

## 会場

九州大学大橋キャンパス  
音響特殊棟 録音スタジオ

## 入場料

1 日券 2,200 円 (一般)  
1,100 円 (学生及び九大職員)  
通し券 5,500 円 (一般)  
2,750 円 (学生及び九大職員)

チケット URL は peatix でのみ販売します。  
(当日券の販売はありません。)

<https://kenbansankei.peatix.com>

本コンサートは、プログラムが変更される可能性があります。  
また、新型コロナウイルスの感染予防の観点から  
実施内容を変更する可能性があります。  
変更の場合はウェブサイト、メールなどで告知いたします。

## 第 1 回 「日加の現代キーボード — Vox Fibrae —」

日程 2022 年 7 月 3 日 (日) 16:00 開演、15:30 開場

演奏者 八坂公洋 (ピアノ)

曲目 クリス・ポール・ハーマン 「Triptych」 (2022 年)  
ゼミソン・ダリル 「Coy」 (2020 年)  
トマス・ディアズ・ビレガス 「トギレトギレ」 (2022 年) より第 1 楽章  
ツォーシェン・ジン 「3つのイメージ—谷川俊太郎に寄せて」 (2019 年) より第 2 楽章  
ゼミソン・ダリル 「山桜花」 (2012 年)  
渡辺裕紀子 「記憶とシミ」 (2019 年)  
佐原洗 「重なり合う幻影」 (2017 年)  
山本裕之 「テレプシコーレ 舞者」 (2000 年)  
成本理香 「Illuminated Windows II」 (2018 年)  
安野太郎 「Waveform composition study I」 (2022 年)  
武野晴久 「Monodie」 (2022 年)  
小櫻秀樹 「Reine Liebe」 (2015/2019 年)  
小林聡羅 「Glass Swan」 (2000 年)

演奏会後発表会・ディスカッション

八坂公洋、小林聡羅、山本裕之、成本理香、渡辺裕紀子、安野太郎、ゼミソン・ダリル

## 第 2 回 「ハイパーピアノ —ピアノを越えて—」

日程 2022 年 10 月 30 日 (日) 16:00 開演、15:30 開場

演奏者 西岡怜那 (ピアノ)、松宮圭太、ほか (電子)

曲目 ジョン・ケージ 「Bacchanale」 プリペアド・ピアノのための (1940 年)  
松宮圭太 「したり」 ハイブリッドピアノのための (2019 年)  
Cassandra Miller 「Philip the Wanderer」 ピアノとペーページターナー (2013 年)  
ジョン・ケージ 「Music for Marcel Duchamp」 プリペアド・ピアノのための (1947 年)  
Jonathan Harvey 「Tombeau de Messiaen」 ピアノとテーブのための (1994 年)  
Michael Pisaro 「fields have ears (1)」 ピアノとテーブのための (2008 年)

演奏会後発表会・ディスカッション

西岡怜那、松宮圭太、城一裕、ゼミソン・ダリル

## 第 3 回 「ゾンビピアノ」

日程 2023 年 1 月 29 日 (日) 16:00 開演、15:30 開場

演奏者 安野太郎 (ディスクラピア・作曲)

曲目 ゾンビ音楽・ディスクラピアのための作品

演奏会後発表会・ディスカッション

安野太郎、城一裕

# 鍵盤三景

ピアノ。白鍵52、黒鍵36の計88を数え、広い音域と深い音楽性は多くの音楽家を惹きつけ続けています。「鍵盤三景」はこのピアノという楽器をベースに、アコースティック、プリペアド、エレクトロニクスといった方法で最先端のキーボード音楽の歴史、現在、そして未来を俯瞰しようとするものです。

今回の一連の演奏会は、2022年2月に行われた「Feldman meets freq」を前身としています。九州大学芸術工学部が誇る設備で、芸工内外の優れた作曲家、演奏家の音楽をお楽しみください。鍵盤の向こう側が新たに見えれば、とても嬉しいです。

## Profile of Players



八坂公洋 / YASAKA Kimihiro

長崎県佐世保市出身。カナダ・モントリオールを拠点に活動しているピアニスト。12歳から本格的なピアノの指導を水谷玲子氏に受ける。長崎大学入学後、カナダの名門マギル大学に編入、ピアノ科で学部と大学院共に橋本京子教授に師事。在学中、「若く優れたピアニスト」とニューブランズウィックでのソロリサイタルの際、音楽雑誌等で報じられた。優秀な成績が認められ、ジェフリー・キャンベル奨学金、ルプカ・コレッサ・アワード、エレンパロン奨学金、そしてヤマハカナダ奨学金を受賞。2014年イタリアで行われたIBLA GRAND PRIZEにて入賞。国内外のマスタークラス/フェスティバルに多数参加し、ギルバート・カリッシュ、ラン・ラン、アンドレ・ラプラント、アンドレアス・ハエフリガー、フィリップ・モル、マキシム・ベンゲロフ、

ホカン・ハルデンベルガーなどに指導を受ける。これまでに日本、カナダ、アメリカ、イタリアそしてスコットランドで演奏しており、バロックから近現代まで幅広くレパートリーがあるが、特に近現代の曲に力を入れており、演奏は国営ラジオカナダなどに取り上げられている。これまで数々の初演をし、その楽曲はカワイ出版やジェラルド・ピヨドー出版、バベル出版ミュージック・フィンランド、カナディアン・ミュージック・センターなどから出版されている。ISME World Conference, Chosen Vale, Arkas, Acces Asieなどのフェスティバルや名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学、ゲーテ・インスティテュートなどの教育機関、並びにカナダ政府、日本総領事館などの行政機関にもゲストアーティストとして招待されている。また、現代音楽のスペシャリスト達からも

信頼が厚く、井上郷子(pf)やDuo Airsなどと共演している。近年ではレコーディングアーティストとしても活動しており、1stアルバム「和のかたち」2ndアルバム「モザイク」を日本アコースティックレコードより発売。「和のかたち」はレコード芸術で準特選になった。グラミー賞受賞歴のあるサウンドエンジニア Richard King のプロジェクトの一環でレコーディングを行い、Focal Press/Routledge から出版されている「Orchestra Recording and Other Classical Music Ensembles」にシヨパンのOp.9No.2の録音が使われている。2021年にゲーテ・インスティテュートとノリエントの世界の音楽事情を提供するポッドキャストシリーズ「TIMEZONES」にてモントリオールで活躍する若手現代音楽家の1人としてフィーチャーされる。



西岡怜那 / NISHIOKA Reina

福岡県出身。5歳よりピアノを始める。ジャック・ルヴィエ、横山幸雄らに師事。高校入学を機に上京し、全額免除特待生として上野学園高校音楽科演奏家コースを卒業。2014年に渡欧し、2017年にオーストリア国立ザルツブルク・モーツァルテウム大学ピアノ科、2021年に同学大学院ピアノ・ソリスト科を共に最優秀で卒業・修了。大学院在学中、2018年度大学奨学

<https://www.reinanishioka.com/>

金を受け、2019年度 Erasmus Plus 奨学生としてロンドン市立ギルドホール音楽演劇学校にて学びディプロムを取得。全日本学生音楽コンクール北九州大会第1位、飯塚新人音楽コンクール第1位、Vienna International Piano Competition 第1位など、国内外の多くのコンクールで入賞を重ねる。九州交響楽団、ポーランド国立クラクフ管弦楽団などの

共演をはじめ、日本各地、オーストリア、ドイツ、イギリス、フランス、スペイン、ポーランドのコンサートや音楽祭にて演奏。2018年のウィーン・ロココヴィッツ宮殿および福岡でのソロリサイタルは、多数の新聞誌面で取り上げられる。現在、九州大学大学院芸術工学府博士後期課程に在籍。演奏活動の傍ら、音楽コンクールの社会的役割や可能性に関する研究を進めている。



松宮圭太 / MATSUMIYA Keita

京都市出身。愛知県立芸術大学卒業、東京藝術大学大学院修了。ロームミュージックファンデーション、メイヤー財団の両助成を得てパリ国立高等音楽院高等第二課程、IRCAM 作曲研究課程を修了。愛知県立芸術大学大学院非常勤講師を経て、現在、大分県立芸術文化短期大学専任講師、相愛大学・同大学院非常勤講師。2010年第8回武生作曲賞受賞、2015年第8回

デステロス作曲コンクール・ミクスト作品部門佳作(アルゼンチン)。2016年フランス学士院の任命により在マドリッド・フランス・アカデミー第87代芸術会員。スペインのカサ・デ・ヴェラスケス、モロッコのアンスティチュ・フランセ・フェズなどで滞り芸術家を務め、オーストリアのクラングシュペーレン音楽祭、スペインのミクストゥール、ベルギーのアルス・ムジカ、韓国の統

営音楽祭、現音 Music of Our Time 等の国際音楽祭で紹介される。音響オブジェ、数理モデル、身体の理の相互協調に関心を寄せて制作する。作品は多岐に渡り、ハイブリッド・ヴィオラのための「奇想曲」(アルス・ムジカ 2015)、「ギター小協奏曲」(ソフィア王妃芸術センター 2017)、舞台音楽「阿羅羅」(大駱駝艦・壺中天 2015、パリ日本文化会館 2017) など。



安野太郎 / YASUNO Taro

1979年、東京生まれ。東京音楽大学卒業、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)修了。代表作に自作自動演奏機械の為の音楽「ゾンビ音楽」シリーズ等。第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館代表作家。第7回JFC作曲賞(日本作曲家協議会)、第10回創造する伝統賞(日本文化芸術財団)。2021年より愛知県立芸術大学准教授



### 交通

- 西鉄福岡(天神)駅より
  - ・西鉄天神大牟田線大橋駅東口(電車5分+徒歩5分)
- JR博多駅
  - ・バス[47,48,48-1,48-2,60]大橋駅下車(バス20分+徒歩5分)
  - ・市営地下鉄天神駅下車、西鉄天神大牟田線へ乗換(地下鉄5分+徒歩5分)
- 福岡国際空港より
  - ・市営地下鉄天神駅下車、西鉄天神大牟田線へ乗換(地下鉄11分+徒歩5分)